



 **AUTODESK Construction Cloud**

 **GAMUDA**

## クラウドベースのコラボレーションで データ主導の未来を築く Gamuda 社

Gamuda Berhad (Gamuda)はマレーシアを拠点とするエンジニアリング、不動産、インフラ企業です。1976年以來、ベトナム、インド、英国をはじめ世界中で革新的なエンジニアリングソリューションと持続可能な開発を提供してきました。

代表的なプロジェクトには、シンガポールのガリバトゥ立体バスターミナル、マレーシアのスガイセランゴールダム、オーストラリアのシドニーメトロウェスタントネルの建設などがあります。

## お客様のスナップショット

企業の規模： 5000 人以上  
業種： 設計、エンジニアリング  
収益： 64 億リンギット  
重点分野： 商業および住宅、インフラ

本社： プタリンジャヤ、セランゴール、マレーシア

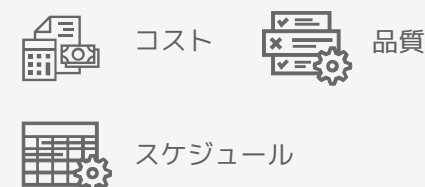
## フェーズ：



## 機能：

- ・ 品質管理
- ・ コスト管理
- ・ ドキュメント管理

## 成果：



## Gamuda の課題：共通のプラットフォームがない環境での作業

Gamuda は東南アジアで 40 年以上にわたって主要なインフラの設計と建設を行ってきました。しかし、オーストラリアと英国に急速に地盤を広げるとき、変化の必要性が明らかになりました。性質がばらばらのチームが別々のソフトウェア製品に投資していたため、コラボレーションが制限されていることがわかりました。コスト管理者と契約管理者が Excel のスプレッドシートを使用していたため不一致が生じ、なかでも海外の請負業者への支払い時に顕著でした。そして主要な部門は使用していたソフトウェアが異なるため、お互いにサイロ化していました。

チームをまとめ上げ、コラボレーションを促進するために、Gamuda には共通のプラットフォームが必要でした。また、関連するプロジェクト データを取得してリンクし、インサイトと分析に役立てるソリューションも必要でした。

「もはや単なる設計にとどまりません。プロジェクトをよりスムーズに進行させるには、フォーム、連絡、コスト管理、ドキュメント管理のすべてが声を上げなければなりません」とチーフ デジタル オフィサーの John Lim 氏は語ります。

BIM の ISO 19650 などの国際基準を満たすプラットフォームを選択することも、この多国籍企業にとって不可欠でした。

## データの透明性が Gamuda にとって解決策に

Gamuda は 2022 年 9 月に Autodesk Construction Cloud の使用を開始しました。同社が Autodesk Construction Cloud を選んだのは、業界をリードする建設ソフトウェアという評判があったからです。

「建設業界の人なら誰でも AutoCAD、Revit、Navisworks を知っています。私たちが魅力を感じたのは、新製品の Autodesk Construction Cloud でした。設計ばかりかすべてのプロジェクトをクラウドに移行することで未来に向かい、人々がコラボレーションできるのです」と Lim 氏は語ります。

決め手となったもう一つの検討事項は、選択するプラットフォームはスタッフにとって使い勝手が良いものでなければならないということでした。不満やストレスを感じずにすぐ手に取って適用できるものということです。Autodesk Construction Cloud のデモでそのメリットを目にすると、すべての部門が単一のプラットフォームを使用し、部門の壁に阻まれずにコラボレーションし、プロジェクトを調整することの利点を数々のチームがたちまち理解しました。

現在、Gamuda ではデータに基づいた意思決定をより多く行えるようになりました。従業員は指摘事項を追跡するために、写真、参照、さらには気象現象まで使用します。

この明確さと透明性により、Gamuda は重要な意思決定を行い、指摘事項が悪化する前に自信を持って取り組むことができます。

「データの意味がわかれば、データを活用し、より適切な意思決定をより迅速に行うことができます」エンジニアリング デジタル リードの Kyle Ewe 氏は述べています。

Gamuda ではアプリケーション プログラミング インターフェイス(API)を使用して、データをさらに抽出しています。オートデスクの広範な API で、コスト管理や SAP 統合など、さらに多くのツールを基盤となる Autodesk Construction Cloud の上に構築できます。これらの強力な API 接続により、Gamuda はプラットフォームをカスタマイズし、すべての関係者にサービスを提供できます。疑いの目を向けていた従業員も利用するようになり、データを視覚化できることのメリットを享受しています。

Autodesk Construction Cloud の API により、Gamuda は AI を使用して案件表を認識することもできます。フォームや写真は Autodesk Construction Cloud から Google ドキュメントに転送され、読み取られて情報がプラットフォームに返送されます。

## Autodesk Construction Cloud の使用がもたらした革新的な成果

仕事が 1 つのプラットフォームで統合された Gamuda は一丸となって取り組んでいます。この信頼できる一元的な情報ソースのおかげで、すべての Gamuda プロジェクトはルック&フィールが一貫しています。

「Autodesk Construction Cloud のおかげでテンプレートを作成できます。クアラルンプールのプロジェクトからオーストラリアやシンガポールに移り、同じレベルの品質管理、コラボレーション、プロセスを適用できます」と Lim 氏は言います。

Gamuda はオートデスクとの関係をパートナーシップであると考えています。テクノロジーが出現すると、Gamuda は Autodesk Construction Cloud プラットフォームを適応させて、持続可能性の目標を達成し、期待を超える優れたプロジェクトを実現するという責務を果たすことができます。

Lim 氏は自社にとって前途は洋々だと言います。拡張現実(AR)アプリを使用して設計を 3D モデルに変換し、現場の作業員が不一致をより早く視覚化して検出できるようになる日を待ち望んでいます。

「Autodesk Construction Cloud を AR や VR などの最新テクノロジーと統合し、持続可能性の取り組みにも統合するために環境への影響や資源利用に関するデータを追跡および分析したいと考えています」グループ デジタル エンジニアリング マネージャの Arthur Mun 氏は述べています。



“  
データの意味がわかれば、  
活用できます”

-Kyle Ewe  
エンジニアリング デジタル リード、  
Gamuda

## テクノロジーを活用してプロジェクトを成功に導く Gamuda のデジタルトランスフォーメーション

Gamuda プロジェクトは Autodesk Construction Cloud で 9 カ国でつながっています。この単一のプラットフォームのおかげで、時間とリソースの節約になるばかりかデータを追跡し続けられるため、高品質の基準が満たされ、信頼性が向上し、ミスが減ります。

「Gamuda のデジタル化は進んでいます。Autodesk Construction Cloud は人々が製品として使用するだけでなく、それを中心にさまざまなものを構築できる開かれたプラットフォームであるというビジョンに共感することができました」と Ewe 氏は言います。

Autodesk Construction Cloud により Gamuda では仕事のコラボレーションと効率が高まりました。なぜなら意思決定がデータによって推進され、透明性が高まるためです。

Lim 氏はこう締めくくります。「このようなテクノロジーがあれば、建設業界はデジタルが最優先の産業になり得ると考え始めることができます」